

日弁連貧困問題全国キャラバン

「旭川でのワーキングプアの実態と公契約条例の可能性」

官民間わすの雇用の流動化・非正規雇用の拡大に伴い、ワーキングプア（働く貧困層）問題が深刻な社会問題になっています。

旭川市においても、市職員の4割が非正規職員（全国平均は3割前後）であることや、市発注の公共工事を請け負う建設業者の多くが低価格の受注競争にさらされ低賃金などの労働条件の悪化を解消することができない状況が続くなど、全国的な流れと同様、もしくはそれ以上の深刻な実態が浮かび上がっています。

**貧困問題を克服するためにどうすればよいか、
みんなで一緒に考えましょう。**

基調講演

◆川村雅則氏（北海学園大学准教授）

1974年生まれ。北海道大学大学院教育学（博士）。

労働経済専攻。働く人たち・中小零細業者の「現状」から、構造改革・規制緩和政策を批判。ここ数年は、労働組合や弁護士と公契約条例づくりに取り組む。

パネルディスカッション

◆パネラー

川村雅則氏（北海学園大学准教授）

渡辺達生氏（札幌弁護士会）日弁連貧困対策本部

○公共工事現場の労働実態をよく知る旭川市民

○非正規市職員の実態をよく知る旭川市民

◆コーディネーター

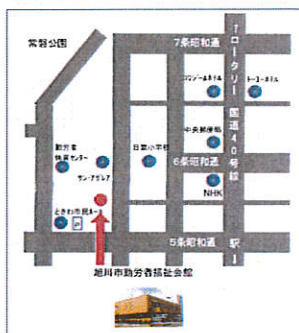
畑地雅之（旭川弁護士会）



**参加無料
予約不要**

日 時 2015年2月28日（土）
午後2時～5時

会 場 旭川市勤労者福祉会館大会議室
（旭川市6条通4丁目 電話 0166-23-5577）



主催 旭川弁護士会 お問い合わせ先：旭川弁護士会 電話 0166-51-9527

誰もが人間らしい生活を保障されるために